



第3回唐津市総合計画策定研究部会
結果報告書

参考資料 8

目次

1. 第3回研究部会の実施概要	3
<hr/>	
2. 将来像、基本目標の検討用資料	5
<hr/>	
3. 研究部会員の意見	13
<hr/>	
3-1. 将来像について	14
<hr/>	
3-2. 基本目標について	16
<hr/>	
4. 名称案の取りまとめについて	26
<hr/>	

1. 第3回研究部会の実施概要

1. 第3回研究部会実施概要

開催日時	2023年12月11日～2023年12月15日
開催形式	書面開催
参加者	唐津市役所職員
目的	<p>次期総合計画の「将来像」、「基本目標」の名称案について、研究部会員の意見を聴取する。</p> <p>研究部会員が検討した意見をベースに、将来像の名称案を事務局で改めて取りまとめるを行う。</p> <p>その後、事務局が取りまとめた将来像の名称案について、インターネット市民投票を実施する。</p>

【資料】配布したワークシート（一部抜粋）

ワーク2:各基本目標の名称案

- 現総合計画の将来像・基本目標・基本施策と別添資料「将来像フレーズ等の検討に関する資料」を参考にしながら、次期総合計画の各基本目標の名称案等について意見を記入してください。
- 次期総合計画の施策体系案では、「にぎわう」「そだてる」「まち」「くらし」「すこやか」の5つを基本目標として大きな方向性を設定しています。
- 5つ全ての基本目標について名称案を検討してください。
- なお、基本目標とは「本市の強みを伸ばし、課題を克服するためのまちづくりの基本的な方向性として掲げる目標」として考えてください。

①基本目標「にぎわう」

(1) 名称案
産業が輝き、市民が交流するまち からつ
(2) 想い・理由
それぞれの産業が、個性を発揮して輝き連携するとともに、市民同士や都市が交流して新しい産業や文化を取り入れて発展する姿を想像しました。

②基本目標「そだてる」

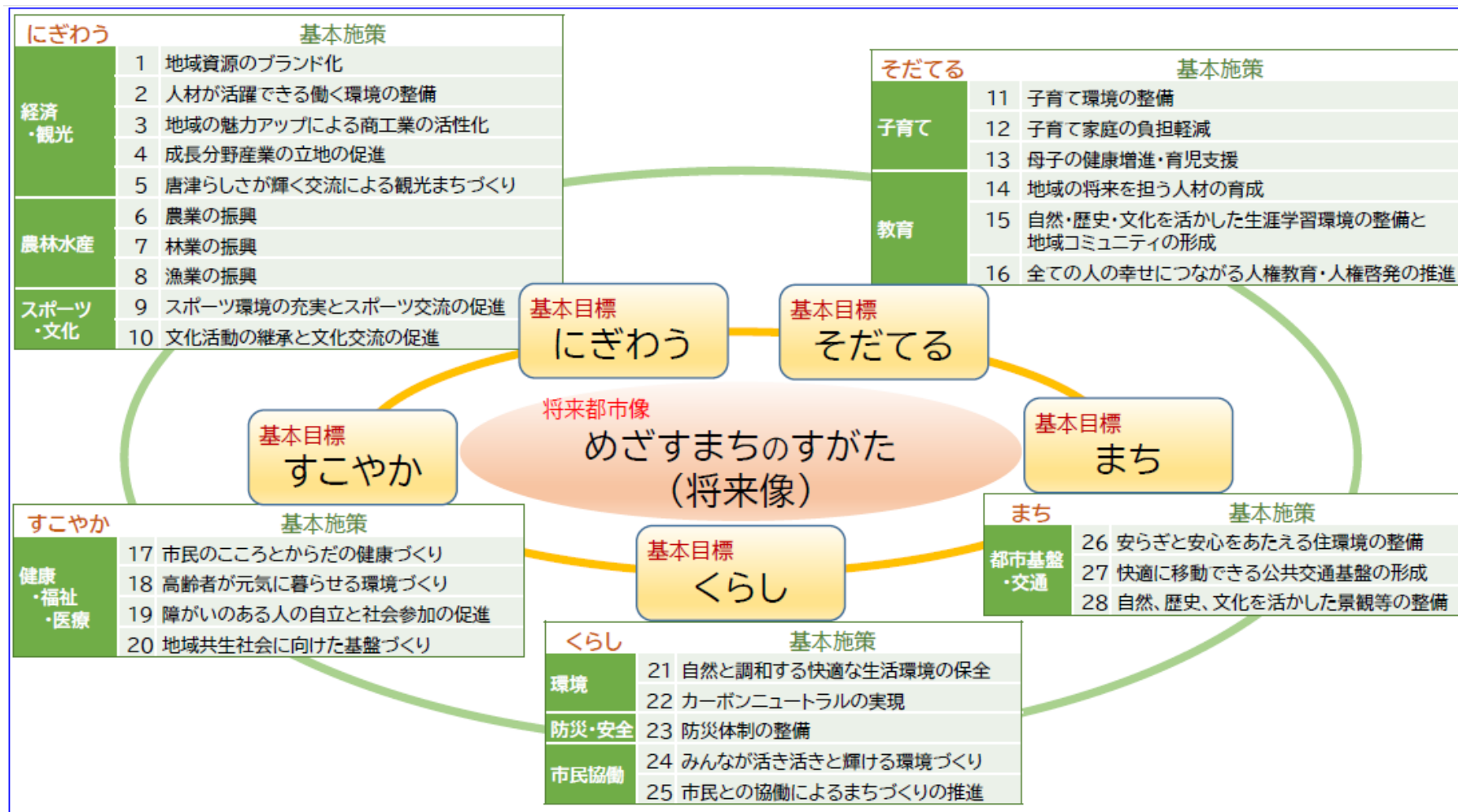
(1) 名称案
健やかでやさしいこどもを育てられるまち からつ
(2) 想い・理由
地域のコミュニティでの子供の見守りや交流、子育て環境の整備を推進、唐津独自のすばらしい文化に触れることなどにより、子供を育てやすく、また、心身ともにすばらしい子供たちが育つ姿を想像しました。

2. 将来像、基本目標の検討用資料

【参考】現総合計画の将来像、基本目標と基本施策

将来像	
海と緑にかこまれたこちよい 唐津	
基本目標	基本施策
1 快適な生活と安全・安心のまちづくり	1-1 消防防災体制の整備
	1-2 地域防災力の向上と充実
	1-3 自然と調和する快適な生活環境の保全
	1-4 良質な飲料水の安定供給
	1-5 中心部から各地域への交通網の整備
	1-6 安らぎと安心をあたえる住環境の整備
2 全ての産業が調和して生き生き働けるまちづくり	2-1 後継者が育つ魅力ある農林水産業の振興
	2-2 地域の魅力アップによる商工業の活性化
	2-3 コスメティック産業をはじめとした企業誘致
	2-4 再生可能エネルギー関連産業の集積
3 生涯を通じてこちよく暮らせるまちづくり	3-1 持続可能で安定した救急医療体制の整備
	3-2 市民のこころとからだの健康づくり
	3-3 安心して出産や子育てができる環境の整備
	3-4 高齢者が元気に暮らせる環境づくり
	3-5 障がいのある人の自立と社会参加の促進
4 生きる力に満ちた人をはぐむまちづくり	4-1 地域の将来を担う人材の育成
	4-2 自然・歴史・文化を活かした生涯学習環境の整備と地域コミュニティの形成
	4-3 全ての人の幸せにつながる人権教育・人権啓発の推進
5 歴史と文化が輝く観光のまちづくり	5-1 唐津らしさが輝く交流による観光まちづくり
	5-2 文化活動の継承と文化交流の促進
	5-3 スポーツ環境の充実とスポーツ交流の促進
	5-4 自然、歴史、文化を活かした景観等の整備
	5-5 人、物、文化の交流拠点としての港湾の整備
6 市民の力を最大限に引き出すまちづくり	6-1 男女共同参画の推進と、女性も男性も生き生きと輝ける環境づくり
	6-2 市民との協働によるまちづくりの推進
	6-3 市民参画につながる広報広聴の充実
	6-4 組織の変化に柔軟な庁舎運営の推進
	6-5 健全で効率的な財政基盤の強化

【参考】次期総合計画の体系案



支える

基本姿勢

多様な主体の活躍

基本姿勢

持続可能な行財政運営

市民アンケートから、現在の唐津市に対する市民が抱く印象・考えなどの設問のアンケート結果を抽出しています。

将来像・基本目標検討用資料（市民アンケートの主要な結果について）

Q.唐津市をどのようなまちだと思うか？

回答内容	項目
「そう思う」と回答した人が多かった	自然の豊かなまち
	歴史・文化の息づいたまち
「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が比較的高かったもの	美しく清潔なまち
	安全・安心なまち
	郷土愛のあるまち
「そう思わない」と「あまりそうは思わない」を合わせた割合が高かったもの	活気のあるまち
	遊ぶ場所が多く楽しいまち
	魅力ある産業のあるまち

Q.特に力を入れるべき、あるいは優先的に実施した方がよい施策・事業は？

回答内容（上位10項目）	割合
高齢者福祉の充実	44.0%
保健・医療の充実	36.4%
企業誘致の促進	24.2%
地域の将来を担う人材の育成	23.8%
障がい者福祉の充実	21.8%
消防防災施設・装備の充実強化	21.8%
福岡・佐賀都市圏当広域交通網の整備	21.3%
中心部から周辺部まで30分圏域の交通網整備	18.2%
観光の振興	15.7%
地域に密着した商業の活性化	15.0%

Q.人口減少に対応する環境づくりのために実施すべき施策・事業は？

回答内容（上位8項目）	割合
結婚、出産、子育て支援などを強化する	45.3%
コミュニティバス発足やダイヤ改正など公共交通機関を強化する	29.5%
個人商店を残す施策など、買い物弱者対策を強化する	27.9%
医療従事者の確保などの医療施設の強化や辺地医療への支援	27.7%
防犯・防災対策を講じた安全安心なまちづくり	14.6%
新しい住民との交流やコミュニティの醸成などを推進する	6.9%
魅力ある子どもクラブ・老人クラブを活性化させる	6.9%
インターネット環境を強化し情報網を整備する	6.1%

市民アンケートの際に自由記述で頂いた意見について、将来像案や基本目標案として参考にできる意見を抽出しています。

将来像・基本目標検討用資料（市民アンケート（自由記述欄）の主要な意見について①）

自由意見

素晴らしい景観と歴史、ゆったりした時間を大切にしながら、高齢者が住みなれた環境で最後まで安心・安全な生活ができる環境。支える家族のサポートや、子育て世帯へのサポート、課題は沢山あると思います。唐津の方々がそのことを理解しあい、助け合いの気持ちで前に進んでいけたらよいまちづくりができると思います。これからはもっと唐津のことに興味を持ちながら過ごしたいと思います。アンケートの参加面倒だなーと初めは思いましたが回答してよかったです。ありがとうございました。

自分が唐津に住んでまちづくりをしたら何をどこまで出来るかは不安があります。しかし誇れる唐津であってほしいと思っています。

人口が減っている上に、自然災害が多発しているので、コンパクトシティにしていくことが必要になると思う。先祖伝来の土地に固執せず、安全な場所で快適に暮らした方が良いと思うが、実現するのはなかなか難しいのかもしれない

企業誘致と起業促進。先端産業などを誘致し、大学の研究施設などを集めて、筑波市のような研究特区を目指す。（農林、海洋分野で日本一を目指してもよい。）（その結果、市民の自慢の町となり、住民・移住者・税収が増加する）

観光資源を生かした観光に力を入れて町を活性化させ、働く場を増やして若い方を定住する唐津を作る（働く場があれば若い方も唐津で暮らせる）

豊かな自然の中で子供からお年寄りまでゆっくり暮らせる場所・里・郷、なにもないからお年寄りが昔を思い出す田舎の日本代表、長生きできる郷、里、お年寄りが安全・安心に暮らせる里

若い方達が活気づく唐津市であって欲しいです。子供から老人まで支え合い笑顔あふれる唐津市になればいいと思います。

何事にも安心安全で、何にしてもお金がうるおう（仕事の安定、地元でお金が上手に回る）まち

人にやさしく、多方面からのルールを考える（秩序ある、マナーの良い）まち

市民アンケートの際に自由記述で頂いた意見について、将来像案や基本目標案として参考にできる意見を抽出しています。

将来像・基本目標検討用資料（市民アンケート（自由記述欄）の主要な意見について②）

自由意見

古き良き物、新しき良き物をうまく共合し共存させてほしいです。

福岡県糸島市のような成功例を参考とし、唐津市のブランド力を上げる。住んでもらうのではなく、住みたい町NO.1を目指す。特に、海周辺の整備に力を入れる。オシャレ、キレイ、カフェ、治安が良い海周辺の町づくり。

若者を誘致できるような大学、企業、施設を整備するとともに、地域性を活かした観光業を、近代的な視点で発展させる。

学校もなく、大きな商業施設もなく、若者が楽しむ所が無いのは、人口減少の原因の1つではないかと思います。でも住みやすい町なのでいずれは帰って来たいと思っているのではないかと思います。それには働く所が無いと帰りたくても帰れない...と思います。魅力ある街づくりをお願いします。

唐津の自然～鏡山・虹の松原・呼子～等の環境保全と、その道中の道路整備などを強化し、自然と共存していく町であってほしいと思います。

企業誘致をされているが、企業も何もない所では従業員を集められないと思うので、従業員の人が住みやすい住環境の整備や公共交通の整備、商業施設の誘致もしくは個人商店の活性化等も合わせてしていただければ、ゆくゆくは子育てしやすい町、高齢化でも安心して過ごせる町に繋がっていくのではないだろうかと考えます。

若い人が都会の学校へ進学し、なかなか地元へ帰郷しない現象が続いています。もっと近くで勉学ができるような施設（大学や専門学校）等を誘致し、経済的に考慮した誰もが学べる環境整備に力を入れて欲しいと思います。

仙台市に対する山形市のように、隣県でかつ地形的な制約があっても、交通アクセスの強化により衛星都市としての発展が見込めるのではないかと考えます。

地域別ワークショップでは各地域別に将来像として、どのようなまちに住みたい・今後していきたいかを検討しています。

将来像・基本目標検討用資料（地域別ワークショップで挙げられた将来像）

グループ	地域別の将来像
中央地域 1 班	暮らしやすい安全な中央地域、チャレンジしやすく明るく活気がある中央地域、自慢できる中央地域
中央地域 2 班	ウチからもソトからも愛される地域
中央地域 3 班	住んでみたいと思えるまち、仕事があって活力があるまち、誰もが安心安全に暮らせるまち、地域資源を活かした魅力のあるまち
中央地域 4 班	世代間コミュニケーションが円滑であらゆる世代に優しいまち
東部地域	七山で産業・観光を盛り上げる施策を打つことで、移住・Uターンへの興味を創出し、地元主体で動きつつも、行政の力強い協力を得られるような素敵な地域
西部地域	豊かな自然の中で子供からお年寄りまでゆっくり暮らせる場所・里・郷、なにもないからお年寄りが昔を思い出す田舎の日本代表、長生きできる郷、里、お年寄りが安全・安心に暮らせる里
南部地域 1 班	教育で、地域社会を取り戻す！
南部地域 2 班	自然環境の整った若い人もあつまる交流の地域
北部地域 1 班	子どもから高齢者まであらゆる世代の住民の活力を活かした地域づくり
北部地域 2 班	北部地域に特徴的である伝統的祭り文化を維持・継承するため、若者世代が暮らしやすい街づくり（※交通インフラ整備・手厚い子育てサポート等を重点的に）に注力し、地域住民全体のQoLを高めていく。

企業向けセミナーを開催し、参加企業によるアンケート結果から将来像案や基本目標案として参考にできる意見を抽出しています。

将来像・基本目標検討用資料（事業者セミナーアンケート用）

質問	主要な意見
将来の唐津市における産業の発展にとって重要なキーワード	「テレワークに理解ある街づくり」 ネット環境の構築によってどこでもいつでも仕事や子育てができるようになれば、子育て世代の定住率をアップさせることができ、人口減少に繋がると思う。
将来の唐津市における産業の発展にとって重要なキーワード	「多くの人が集まる唐津」 企業の少子高齢化が進み人材確保が大きな課題であるため、教育、環境整備、観光PR等を通して若い人が集まる場・学べる場が多くあってほしい。
将来の唐津市における産業の発展にとって重要なキーワード	「若者が残りたくなるまち」 高校卒業と同時に唐津を出る若者が多く、将来を担う若者が残りたくなるまちであってほしい。
将来の唐津市における産業の発展にとって重要なキーワード	「観光・食事・文教・温泉」 佐賀県の中でもTOPとなる魅力多い都市となってほしい。福岡に負けない、もしくは同じものがある、明るく楽しい町となってほしい。
企業活動においてデジタル技術の導入を目指す上での課題	新たな分野に挑戦する気持ち
デジタル技術導入における課題を踏まえ、市に力を入れてほしいこと	テレワークできる地域として発展させてほしい。

3. 研究部会員の意見

3-1. 将来像について (1/2)

名称案	想い・理由
笑顔と元気があふれるまち からつ	基本目標「にぎわう」「そだてる」「すこやか」「くらし」「まち」がそれぞれに発展し、融和することによって、市民がくらしやすくなり、市民ひとりひとりがそれぞれ生き生きと生活できて、また、市民相互に協力しあう姿を想像しました。
「自然」と「住む人」の魅力があふれるまち 唐津	海と緑をはじめとする「自然」は、唐津がもつ唯一無二の宝であり、その自然には訪れた人みんなが、「魅力」を感じるようになってほしい。また、「住む人」1人ひとりが、魅力ある唐津人である、あってほしいという思いから上記名称を提案する。
住みたいまち唐津・行きたいまち唐津	唐津市独自の子育て、進学に関する施策、例えば子どもたちの奨学金支援（卒業後施10年間唐津市に住むなどの条件を設ける）のような仕組みがあれば、安心して唐津市に住みたいと考える人たちも増えるのでは考えるため。また、唐津は福岡空港からもバス一本・地下鉄でそのまま一本で行くことも可能で、アクセスも良いという強みを生かし、国内観光客需要、インバウンド観光客需要を更に取り込み観光地としての唐津の魅力を磨いていくべきと考える。
自然・文化に囲まれ、笑顔があふれるまち	唐津に昔から当たり前にあるけれども他に誇れる、豊かな自然や他の地域と異なる文化がこれから先もあり続けてほしいという想いと、市民アンケートで意見にもあり、悪い結果でもあった、活気・魅力がないというところから、みんなが笑顔になったら活気があって魅力的なまちになるのではないかと思い、上記の名称案とした
選ばれるまちからつ	住居、仕事、ふるさと納税など何か一つでもよいので選ばれたいと思いました。
人と自然にあいされる都市	市の特徴の一つである自然環境と調和し共存する市民と、その土地を楽しむ来訪者が多く訪れる都市であってほしい。自然豊かで美しい、都市化が進んでも郷土愛が残る場所であってほしい。
わたしが輝くまち からつ	子どもから大人まで、住民も労働者も観光客も。自然も特産品も文化も歴史も。すべてが輝けるまちを作りたい。みんなが融合し、共存できるまちづくりを目指す

3-1. 将来像について (2/2)

名称案	想い・理由
活気にみちた、たくさんの魅力があふれるまち「からつ」	市民アンケートの回答では、「活気があるまち」が「思わない」の割合が高い項目に上がっており、活気あるまちづくりが必要と想いを入れています。また、自然、歴史、文化といった唐津の魅力をさらに発信しつつ、魅力ある観光、産業、子育て、街づくり等の事業を進めて行く想いを「たくさんの魅力があふれる」という言葉を採用し、名称としました。
つながる唐津	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる世代がつながる ・あらゆる地域がつながる ・あらゆる産業がつながる
ひと・自然・産業が響きあう 安心で誇れるまち唐津	<p>将来像は基本目標・基本施策の一番上位にあたるため、すべてを包括するのが理想的ではあるが、そういうわけにもいかないので主要なポイントをできるだけ詰め込むことを意識して名称案としました。それぞれの言葉に込めた意味は下記のとおりです。</p> <p>【ひと】＝市民、市内企業で働く人、観光客など唐津市に関係する様々な人 【自然】＝海、山、川、松原など唐津が有する自然。環境保全的な意味合いも含む。 【産業】＝農林水産業、商工業、観光業などすべての生産的経済活動 【響きあう】</p> <p>① 上記3つが相互に調和し連携しながら好循環を生み出していくイメージ ② それぞれの項目内で響きあい唐津のポテンシャルを高めていくイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の響きあい＝地域内の交流、市外の人との交流促進 ・自然の響きあい＝唐津の豊かな自然を通じた交流や一体的な環境保全を指す。県の森川海人的なイメージ。 ・産業の響きあい＝農林水産品のブランド化や6次産業化の推進、農村ツーリズム <p>【安心】</p> <p>① 福祉的意味合い（安心して出産・育児ができる、安心して老後を暮らせる） ② 防災・住環境的意味合い（防災体制の整備、住環境の整備）</p> <p>【誇れる】＝人材育成、生涯学習、人権啓発、文化継承等を通して郷土愛をもち、それを誇るころ</p>
海、緑のやすらぎと まち、人の活気が調和した ふるさと唐津	海（七ツ釜、呼子港、波戸岬、いろは島等）や緑（虹ノ松原、滝、棚田等）による自然景観のやすらぎや、唐津くんち時のまちの活気は、全国トップレベルと思うので、他の自治体の計画と差別化できる名称が望ましいという想いから。
誇れるまち 唐津	ちょっと足を延ばせば、海、山、川全てがあるため、大自然と共存でき、日本や世界にも誇れる産業や歴史ある祭りもあるため。
自然豊かで地域の魅力あふれるまち からつ	虹の松原、鏡山、唐津湾、離島など、唐津を代表する緑豊かな自然のなかで、市民の皆様とともに安心して共に暮らせるまちづくりが大切だと思う。 また、限りある資源を次世代に残せるような取り組みを取り入れたまちづくりが大切だと思うので、将来像のキーワードとして、「自然」という文言を入れた。 さらに、H17年の合併により、新しい「唐津市」になったが、旧市町村においても、変わらぬ、地域ならではの町おこしの伝統の継承が重要だと思い、「地域の魅力」という文言を明記したもの。

3-2. 基本目標について【にぎわう】(1/2)

名称案	想い・理由
産業が輝き、市民が交流するまちからつ	それぞれの産業が、個性を発揮して輝き連携するとともに、市民同士や都市が交流して新しい産業や文化を取り入れて発展する姿を想像しました。
かがやく	経済、観光、農林水産、スポーツ・文化のすべてが唐津市の宝であり、その宝を「かがやく」という言葉がこれからの唐津市に合うと考える。
国際色豊かににぎわうまち唐津	唐津は古くから東アジアと関わってきた歴史、福岡からのアクセスの良さを生かし、アジアをはじめ海外からの観光客、唐津への旅客船誘致、福岡旅行と銘打って来日する外国人観光客を唐津まで取り込む積極的な観光誘致政策を打ち出し、観光客でにぎわい、唐津の経済を活性化させたい。そのためには糸島のようにブランド化、オシャレと思われるもの、映えると思われるものをまち中に増やしていく必要がある。
唐津の持つポテンシャルを発揮するにぎやかなまち	唐津の文化・歴史や環境に基づく経済観光振興や唐津の気候、地勢にあった产品生产による農林水産業振興があると考え、将来像（めざすまちの姿）の名称案にも記載した自然・文化など唐津がもともと有するポテンシャルを発揮し、にぎわってほしいという想いから
魅力の再認識と相乗	住んでいるから当たり前になっている魅力を再認識すること、今まで一緒にしてこなかったものを掛け合わせることで新たな魅力につながるのではないかと考えました。
産業同士がつながって、都市がまるごと活気づく	たくさんの産業がある唐津市において、共通の課題等に対しそれぞれの産業が協力しあい繋がりをもって一緒に盛り上げていくことで、多くの分野で活気づいてほしい。
いどり豊かなまちづくり	カラフル（唐津ふるさと）から由来するもの。 唐津らしさを生かした、経済、観光、水産、文化を共存させて、多様性を認められるまちづくりを目指したい。

3-2. 基本目標について【にぎわう】(2/2)

名称案	想い・理由
ブランド唐津でみんなが集まる活気あるまちづくり	色々な分野のブランド化を目指し、企業、人材、観光客等が集まり、活気のあるまちづくりを目指す視点で決めました。
元気なまち	市民一人一人がなにかしら自分の目標を持つことができれば、活気が生まれ賑わいが出てくる。
地域資源の魅力を引き出したにぎわいと交流のまち	各基本施策を包括的に取り込んだ名称案としました。 【地域資源の魅力を引き出した】 農林水産物、観光資源、文化的資源、自然など唐津市が持つ様々な魅力を十分に引き出し活かしていく 【にぎわい】 その魅力を活かした企業誘致や新産業集積によるにぎわいの創出 【交流】 その魅力を活かした観光振興や文化振興、スポーツ振興で交流を図る
豊かな文化と歴史があり 食も美味しい 活気あふれるまち 唐津	豊かな文化といえば「唐津くんち」、歴史といえば「肥前名護屋城」、食は、海産物（呼子のイカ、唐津Qサバ等）、畜産物（佐賀牛、肥前さくらポーク等）、野菜、果物等の名産品が多数あり、産業、観光分野でさらに輝けるという想いから。
革新で生まれる、新しいにぎわい	DXへの取組に重点を置き、様々な分野でのにぎわいを起こせれば
活力あるまちづくり	地場産業の活性化や企業誘致、定住促進などより良いまちづくりを目指せないかとの思いから。
ありふれた自然のなかでにぎわうまちづくり	「ありふれた自然」のなかで、農業、林業、漁業等の意味を込め、それぞれの振興を図りながら、そこに住む人々や、観光・イベント等で出会う人々とふれあいながら、まちのにぎわいを創出できるような想いを込めたもの。

3-2. 基本目標について【そだてる】(1/2)

名称案	想い・理由
健やかでやさしいこどもを育てられ まち からつ	地域のコミュニティでの子供の見守りや交流、子育て環境の整備を推進、唐津独自のすばらしい文化に触れることなどにより、子供を育てやすく、また、心身ともにすばらしい子供たちが育つ姿を想像しました。
はぐくむ	「はぐくむ」とは、大切に、やさしく育てるという意味があり、子育て、教育においても、「大切に、やさしく」をテーマにすることがこれからの寄り添う唐津市の姿に合う言葉だと考える。
子育てしたくなるまち唐津	唐津独自の奨学金制度を導入するなど、唐津で子育てすることで得ることができる「旨味」を実感できるような政策で他の自治体と差別化し、将来的な人口流動を防ぐ。
みんなで笑顔をはぐくむまち	子育てはもちろん、地域の生涯学習などすべての人が笑顔あふれるような子育て環境、学習環境、地域コミュニティがあってほしいという想いから
仕事と育児を共存できる環境づくり	仕事をしながら育児をしやすい環境ができればよいなと思いました。
生涯にわたり、みんなで学び、みんなで育てる	生まれた時から年齢を重ねるまで、どの世代や環境にあっても自由に学び、育つ。育った人がまた新たな人を育ててくれる輪ができてほしい。未来を創る子どもたちをみんなで育てるという意識。
からつっ子の未来を応援するまちづくり	唐津の未来を担う子供たちの育成と、安心して育てられるよう環境を整備し、子育て世代を支援する

3-2. 基本目標について【そだてる】(2/2)

名称案	想い・理由
未来で輝ける子どもを育むまちづくり	将来、唐津や様々な分野で輝けるような子育て、教育支援を目指す意味で決めました。
育児あんしん	大都市圏が教育無償化、給食費無償化、医療費無償化に舵を切っているので、ここで追随しておかないとどんどん人が出ていく一方だと思う。子育てで安心感があれば他県他市町の子育て世代を取り込んでいけるのではないかな。
ふるさとに愛着と誇りをもち、心豊かな人を育むまち	年齢に関係なく生涯を通じた人づくりを目指すという想いを込めました。トレンド的には「子ども」に主眼を置いた名称の方が良いと思いましたが、そうすれば教育分野が含まれなくなるジレンマに陥りました。 【ふるさと】 = 唐津の自然、歴史、文化、風土 【愛着】【誇り】 = 唐津を愛する心。郷土愛。 【心豊かな】 人権リテラシーが高く、学習意欲に満ちた様 【人】 子どもから高齢者まですべての市民
子育てにやさしく 地域はいきいきと 次世代へつなぐまち 唐津	若い世代の人口流出を防ぐ及び地元出身の人口流出者が唐津へ帰って来たくするためには、「子育てしやすいまち」であることが求められ、さらに地域の将来を担う人材を確保することも大変重要であり、次世代へつなぐためには、「子育て」「地域」がキーワードになるという想いから。
未来を照らす、ここでそだてる	明るい将来を教育から
未来へつなぐまちづくり	今後の人口減少も考え、生活しやすく学びやすい唐津で、将来を担う人材育成が出来たらいいとの思いから。
誰もが安心して学び、暮らせるまちづくり	子供が安心して学べる環境を提供すること、それに伴い、子育て世代が安心して暮らせる取り組みを目指すもの

3-2. 基本目標について【まち】(1/2)

名称案	想い・理由
文化と自然が調和した 暮らしやすいまち からつ	唐津の素晴らしい文化と自然が調和し、かつ、快適に移動もでき、その地区ごとにいきいきと生活される市民の姿を想像しました。
まち	現行どおりで良いと考える。
集いなくなる市民の憩い場「唐津新市民会館」があるまち	新市民会館を市民の交流活動の拠点の場として、市民でにぎわう施設となることを希望する。
いつでもここよく暮らせるまち	都市基盤、交通インフラ等の施策を図り、唐津に住んでいるひとが心地よく快適に過ごせるようにという想いから
地域資源を活かした住みやすいまちづくり	いろいろな地域資源がると思いますのでそれを活かしてほしいと思いました。
便利さと自然の安らぎが共生するまちづくり	交通課題の解決等で利便性を向上させていく中で、市の特徴である豊かな自然や文化を散りばめていくことで共生していきたい。
かえりなくなるまち からつ	安心して快適な生活が送れるまちでありたい。日常生活が忙しくても、つらいことがあっても、ほっとできる、家に帰って落ち着くような、気持ちを一旦リセットできる観光地のような、どんなときも誰にとっても受け皿になれるようなそんなまちづくりを目指したい。原点に戻る。初心に戻る。我に戻る。

3-2. 基本目標について【まち】(2/2)

名称案	想い・理由
安らぎのある快適で住みよいまちづくり	安らぎのある住環境整備、快適に使用できる公共交通基盤整備を目指す名称としています。
自然を活かすまち	唐津の一次産業、肉・魚・野菜の質は高いので、それらをより強く産業・観光に活かしてほしい。
良好な生活環境が整い、住み続けたいと思えるまち	市民にとって住み心地がよいと実感できる環境整備により、唐津に住み続けたいと思う人を増やしたいという想いを込めた名称案です。 【良好な生活環境】 住環境、公共交通基盤、景観等の各基本施策を包括的に含む 【住み続けたいと思える】 利便性が高い暮らしを実感でき、ずっと唐津に住み続けたいと思う心
自然のやすらぎと 人の活気が調和した 快適に暮らせるまち 唐津	やすらぎのある生活と、人・まちの活気が調和（両立）し、快適に移動できる利便性も備えたまちにしたいという想いから。
まちのぬくもり、こちよい時間	住みよい環境づくり 自然をイメージ
安全・安心・魅力ある景観のまちづくり	公共交通基盤も新たに改良するものしないもので精査しつつ、今ある公共交通基盤の再整備等で何とか行えないものなのかと思うのと、地域の文化や歴史を生かした景観整備を目指せないかとの思いから。
心地よく過ごせるまちづくり	快適に過ごせる環境の整備

3-2. 基本目標について【暮らし】(1/2)

名称案	想い・理由
自然にやさしい 安心して暮らせるまち からつ	将来につなげるすばらしい自然を残す取り組みを行い、防災の取り組みを行い、いつも安心して暮らしている市民の姿を想像しました。
暮らし	現行どおりで良いと考える。
過去の痛みを未来に繋げるまち 唐津	虹の松原の死亡事故や、今年の今坂地区の災害など、これまでの事故や自然災害の反省を生かし、環境保全をしつつも、未来で安全安心して暮らせる道路整備、舗装整備等をできる限りやっていくべきと考える。
ほがらかにすごせるまち	豊かな環境にあふれ、安全、安心が当たり前であり、家にいるだけでもほがらかな気持ちを持てるようなまちであってほしいという想いから
助け合い安心して暮らせるまち 唐津	防災体制の強化を図ることで共助の精神を持ってもらい、助け合ってほしいので
人とまちの未来を考える暮らしづくり	環境問題や自然災害の問題にそれぞれが取り組み、未来を見据えた暮らしのあり方を市民協働でつくりあげていきたい。
生涯を通じてこちよく暮らせるまちづくり	自然との調和、持続可能な生活環境の保全 みんなが自分らしく生き活きと輝ける環境づくりを整備する

3-2. 基本目標について【くらし】(2/2)

名称案	想い・理由
環境にやさしく、市民との協働による安心に暮らせるまちづくり	環境保全の意識向上のため、「環境にやさしい」という言葉を入れました。また、防災面の共助や市民協働によるまちづくりの重要性から「市民との協働」という言葉を入れています。
くらし充実	①②③④ が充実した結果
人と地球にやさしく、ひとりひとりが輝く安心のまち	各基本施策を包括的に取り込んだ名称案としました。 【人にやさしく】 多様性が認められ、誰もが主役になれる 【地球にやさしく】 環境保全、カーボンニュートラルの実現 【ひとりひとりが輝く】 市民協働によるまちづくり 【安心の】 災害に強く、安心して生活できる防災体制の整備
支え合い 共に生きる 安心なまち 唐津	市民と協働したまちづくりが求められ、そのためには、地域での「支え合い」は不可欠であり、災害時には、地域が「共に生きる」という意識で「安心なまち」を実現していくことができればという思いから。
こころがけが生む、安心のくらし	市役所だけでなく、市民全体での意識付けが必要
みんなが生き生きと輝けるまちづくり	市民協働で生き生きと過ごせるまちづくり

3-2. 基本目標について【すこやか】(1/2)

名称案	想い・理由
すべての市民がすこやかで輝けるまち からつ	子どもからお年寄りまですべての方が健康で、障害をお持ちの方も安心してらせる市民の姿を想像しました。
いきいき	高齢者や障がい者もみんな、自分らしく「いきいき」と暮らせるまちづくりを目指すにあたって、これからの唐津市に必要な言葉だと考える。
安心して長生きできるまち唐津	市民の身体的健康はもちろん、心の健康までサポートできるような仕組みづくりを強化する。例えば、将来的に腎臓病に繋がり、人工透析患者となる危険のある生活習慣からの糖尿病の予防、既に糖尿病患者である市民の症状改善を積極的に促せる施策を考えるなど。また、市民の心の相談窓口となるような窓口を設け、唐津市民が心身ともに健康で豊かな生活が送れるように支援する。
すこやかにすごせるまち	子どもからお年寄り、障害の有無に関係なく、すべての人が唐津で生涯をすこやかにあたたかい心をもってすごしてほしいという想いから
誰もがこちよく暮らせるまちづくり	名称のとおりです。
多様な安心のかたちを実現するまちづくり	多様性に対応したところからの健康づくりと、だれもが安心して（可能な限り）自立した生活を望むことができる場所であってほしい。
わたしらしく輝きつづけるまちづくり	じぶんらしく、無理することなく、活き活きと輝ける暮らしを応援するまちづくり

3-2. 基本目標について【すこやか】(2/2)

名称案	想い・理由
みんなが心身ともに健やかで豊かに暮らせるまちづくり	医療・福祉・健康の充実による心身ともに健やかさに加え、さらにみんなが豊かに生活できるよう想いを込めました。
すこやか唐津	前向きな生活をするためには、個々の心身の健康が前提だと思うので、そこを市が補完サポートする。
誰もが自分らしくすこやかに暮らせる共生のまち	各基本施策を包括的に取り込んだ名称案としました。 【誰もが】 高齢者やハンディキャップがある人等含めたすべての人 【自分らしく】 ハンディキャップ等の有無にかかわらず自分の価値観で 【すこやかに】 心と体の健康維持 いきいきと元気に 【共生の】 地域とのつながりの中で支えあい生活していく
誰もが すこやかに 輝けるまち唐津	「誰もが」は、赤ちゃんから高齢者までどんな世代でも、障がいのある人も性別も国籍も問わないすべての人という意味で、全ての市民が「すこやか」（健康）で「輝けるまち」にとの想いから。
すこやかな一生を、すべての市民とともに	分け隔てなく生涯唐津で過ごせるように
安心して住み続けられるまち唐津	年齢、性別、障害の有無に関係なく、一日一日を普通に過ごせることがいかに大切かという思いから。
自ら明るく元気でいられるまちづくり	市民の方々の健康づくりや、高齢者の方々がいつまでも元気で過ごせる環境づくり

4. 名称案の取りまとめについて

インターネット市民投票に諮る将来像案として、下表のとおり3案を選出しました。

将来像・基本目標検討用資料（地域別ワークショップで挙げられた将来像）

将来像	選出理由	研究部会員の想い
<p>活気にみちた、たくさんの魅力があふれるまち からつ</p>	<p>市民アンケートの結果だけでなく、市民アンケートの自由意見、地域別WSなどにおいても、まちの活気・魅力を向上させるべきという意見は多い。 少し漠然とした将来像ではあるかもしれないが、唐津市民が市のイメージとして「活気がない」「魅力が足りない」と感じていると仮定するのであれば、この将来像のような直接的表現の方が市民にも伝わりやすいと考えた。</p>	<p>市民アンケートの回答では、「活気があるまち」が「思わない」の割合が高い項目に上がっており、活気あるまちづくりが必要と想いを入れています。また、自然、歴史、文化といった唐津の魅力をさらに発信しつつ、魅力ある観光、産業、子育て、街づくり等の事業を進めて行く想いを「たくさんの魅力があふれる」という言葉を採用し、名称としました。</p>
<p>ひと・自然・産業が響きあう、安心で誇れるまち からつ</p>	<p>ほとんどの研究部会メンバーがポイントとして挙げている「人」「自然」「産業」「安心」が網羅的に抑えられている。基本目標とのつながりも良いと思われる。 また、「響きあう」「誇れる」も一見では市民に伝わりにくい表現となっているものの、具体的なイメージがしっかり練られている。</p>	<p>将来像は基本目標・基本施策の一番上位にあたるため、すべてを包括するのが理想的ではあるが、そういうわけにもいかないので主要なポイントをできるだけ詰め込むことを意識して名称案としました。それぞれの言葉に込めた意味は下記のとおりです。 【ひと】= 市民、市内企業で働く人、観光客など唐津市に関係する様々な人 【自然】= 海、山、川、松原など唐津が有する自然。環境保全的な意味合いも含む。 【産業】= 農林水産業、商工業、観光業などすべての生産的経済活動 【響きあう】 ① 上記3つが相互に調和し連携しながら好循環を生み出していくイメージ ② それぞれの項目内で響きあい唐津のポテンシャルを高めていくイメージ ・人の響きあい = 地域内の交流、市外の人との交流促進 ・自然の響きあい = 唐津の豊かな自然を通じた交流や一体的な環境保全を指す。県の森川海人的なイメージ。 ・産業の響きあい = 農林水産業品のブランド化や6次産業化の推進、農村ツーリズム 【安心】 ① 福祉的意味合い（安心して出産・育児ができる、安心して老後を暮らせる） ② 防災・住環境の意味合い（防災体制の整備、住環境の整備） 【誇れる】= 人材育成、生涯学習、人権啓発、文化継承等を通して郷土愛をもち、それを誇るこころ</p>
<p>魅力ある自然と文化が、住みたい・訪れたいにつながりえらばれるまち からつ</p>	<p>・「自然」と「住む人」の魅力があふれるまち 唐津 ・住みたいまち唐津・行きたいまち唐津 ・選ばれるまちからつ ・人と自然にあいさされる都市 上記の意見の考えを統合し、作成した。 唐津市の魅力である自然・文化を活かし、多くの人に唐津市を選んでもらい、活力あるまちを目指すイメージ。</p>	<p>・海と緑をはじめとする「自然」は、唐津がもつ唯一無二の宝であり、その自然には訪れた人みんなが、「魅力」を感じるようになってほしい。 ・住居、仕事、ふるさと納税など何か一つでもよいので選ばれたいと思いました。 ・市の特徴の一つである自然環境と調和し共存する市民と、その土地を楽しむ来訪者が多く訪れる都市であってほしい。</p>